

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい＝ひと休み)



市ホームページ「うらそえトピックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



11/30 大盛況の児童センターフェスティバル!

「第16回浦添市児童センターフェスティバル」がANA ARENA 浦添(体育館)にて行われました。市内11か所の児童センターが大集結し、こども実行委員会を中心とした舞台発表やさまざまな遊びコーナーや防災・防犯体験コーナー、親子で遊べるコーナー、企業連携による紙漉き体験や名刺づくりコーナー、ハンドボール体験などが実施されました。

参加した子供たちからは「万華鏡作りやメガネ作りが楽しかった」「迷路楽しかった!」「お母さんと一緒に遊べて楽しかった」「色んな遊びコーナーがあって楽しかった」「また来たい」といった声があり、笑顔あふれるイベントとなりました。



12/6 ウラシーンチュの心をいつまでも

南米移住者子弟研修生受入事業の修了式が市役所で行われました。本市にルーツがあるブラジル出身の富間 ペアトリス マユミさんと、ペルー出身の高群 儀武 ヒメナさんは三線、書道、空手、琉球舞踊など約4か月の研修の成果を親族や研修講師、友人らの前で発表しました。マユミさんは「ここ浦添も私の家だと感じる。これからも日本語や文化を学び続け、ここで築いた関係をより深めていきたい」と話し、ヒメナさんは「ひいおばあちゃん、ひいおじいちゃんの文化に触れ合えてよかった。帰国後は、沖縄の文化が世界中で生き続けるよう、学んだことを伝えていきます」と話し、2人は発表会を通して沖縄で出会った全ての人へ感謝の気持ちを伝えました。



11/25 ハーモニーセンターが紫色に染まりました

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中に、浦添市ハーモニーセンターにおいてパープル・ライトアップを実施しました。パープル・ライトアップには、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く呼びかけるとともに、被害者に対して「ひとりで悩まず、まずは相談してください」というメッセージが込められています。25日の「女性に対する暴力撤廃の国際デー」には、敷地内に40個のパープルペットボトルライトの設置も行い、ご覧になられた皆さまから「とてもきれい」「パープル・ライトアップの意義を知ることができた」などの声が寄せられました。

また、市役所においても、パープルリボンキャンペーンとして、運動期間を含めた11月1日～29日の約1か月間、意識啓発のためのパネル展を開催しました。



11/25 浦添市のスポーツ推進に長く貢献

11月に宮崎県で開催された第65回全国スポーツ推進委員研究協議会において「全国スポーツ推進委員功労者表彰」を受賞した、浦添市スポーツ推進委員の仲村和文さんが、受賞報告のため松本市長を表敬しました。

スポーツ推進委員とは、市町村のスポーツ推進のために実技の指導や助言等を行う職員のことで、仲村さんは平成7年から29年間、浦添市スポーツ推進委員として、てだこウォークなどのスポーツ事業の運営や専門とする野球競技の指導、審判員などを務めてきました。

受賞について仲村さんは「後輩への指導や若手の推進委員の育成など、これからも浦添市のために尽力していきたい」と話しました。



11/17・19 楽しく学んで防災意識を高める!

市民や子どもたちに防火や防災の大切さを伝えるため、17日に「第15回てだこキッズファーストファイヤーフェスタ」、19日にあいのそのこども園児による「防火パレード」が行われました。

ファイヤーフェスタには、多くの親子が参加し、はしご車乗車、放水、救急法体験など消防士の仕事を体験しました。あいのそのこども園の園児は、バスドラムやエコーで「ケセラセラ」「火の用心」を演奏しながら『守りたい 未来があるから火の用心』と呼びかけ、約40年続いている防火パレードを行い、子どもたち自身も楽しみながら防災意識を高めました。

これからの季節、市民の皆さんも火災には十分注意し、なお一層の防火対策をお願いします。



11/16・17 少年野球交流大会 2年連続優勝!

第12回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会が9年ぶりに本市で開催されました。

この大会は、「つばめ」の縁で関わりのある新潟県燕市と、球団のキャンプ地である愛媛県松山市、宮崎県西都市と浦添市の4市で構成されており、幅広い交流を目的に開催されています。

選抜チームを編成した浦添市は、日頃の練習の成果を十分に発揮し、チーム一丸となり2年連続3回目の優勝を勝ち取りました。また、今大会に駆けつけてくれた宮本 文選手、吉村 貢司郎選手から試合の合間に野球の指導を受けたり、試合後には参加者全員でバーベキューをしたりと、選手や他市の子どもたちとの交流を楽しみました。



11/16 浦添市の特産品ができるまでを学ぶ

養蚕から絹織物ができるまでの一連の工程を行う「浦添市養蚕絹織物施設サン・シルク」で施設見学会が行われました。

この日行われた見学会では、繭の糸挽き体験、カイコふれあいコーナー、機織り体験などができ、参加者からは「クイズラリーで浦添市の特産品のことを色々知ることができて良かった」「織機を初めて触った。出来上がった織物がとてもきれいだったと思った」など、普段できない体験を楽しみながら学んでいました。また、カイコふれあいコーナーでは「学校でカイコを育てたことがあるよ」「よく見たら、顔も足も可愛い」と、優しくカイコに触る子どもたちの様子も見られました。

サン・シルクでは、常設で機織り体験やうらそえ織商品、桑関連商品の販売も行っていますので、ぜひお越しください。